

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 小田急建設株式会社

コード番号 1834 URL <http://www.odakyu-kensetsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 義明

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部総務部長 (氏名) 中沢 建次

TEL 03-3376-3101

四半期報告書提出予定日 平成20年8月11日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	10,893	—	△402	—	△416	—	217	—
20年3月期第1四半期	14,038	△15.3	△340	—	△353	—	△200	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	10.02	—
20年3月期第1四半期	△9.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	64,523	—	8,798	—	13.6	—	405.22	—
20年3月期	67,200	—	8,410	—	12.5	—	387.35	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 8,798百万円 20年3月期 8,410百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	5.00	5.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	32,000	—	△190	—	△230	—	270	—	12.44
通期	80,000	△0.5	920	△32.0	750	△44.0	560	18.7	25.79

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 21,720,000株 20年3月期 21,720,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 7,994株 20年3月期 7,784株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 21,712,011株 20年3月期第1四半期 21,712,951株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 平成21年3月期の連結業績予想は、「平成20年3月期 決算短信」(平成20年4月24日付)において公表した金額に変更はありません。

2. 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業務の変化等により、上記予想と異なる場合があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の我が国経済は、米国のサブプライムローン問題による米国経済の減速、原油・穀物等の原材料価格の高騰、円高の進行などにより景気の減速傾向は一層強まり、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要事業であります建設業界におきましては、公共投資は総じて低調に推移し、民間設備投資は概ね横ばいとなっていることから、競争環境は一層厳しさを増す中で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループは平成20年4月1日付で新たに「大和ハウスグループ」の一員としてスタートし、更なる企業価値の向上に取り組んでおります。また、小田急グループの鉄道メンテナンス事業の再編に伴い、平成20年2月8日に当社と小田急設備株式会社間および当社の子会社であるケンキー工業株式会社と小田急設備株式会社間で、それぞれ締結いたしました吸収分割契約に基づき、平成20年4月1日付で当社の軌道保守管理業を小田急設備株式会社に承継するとともに、同年5月1日付で小田急設備株式会社の建築設備業をケンキー工業株式会社に承継されました。なお、経営課題につきましては引き続き、①官公庁工事における受注の確保と利益の向上、②一般民間工事における受注の拡大と利益の向上、③総合力の結集と企業体質の強化を目指しております。

当第1四半期の受注工事高につきましては、108億3千4百万円となりました。売上高は、108億9千3百万円、営業損失4億2百万円、経常損失4億1千6百万円、四半期純利益は、軌道事業の分離における移転利益7億9千1百万円を特別利益に計上したことから、2億1千7百万円となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業の形態として第4四半期に完成する工事の割合が大きく、業績に季節的変動があります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第1四半期末における資産の残高は645億2千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億7千6百万円の減少となりました。主な原因といたしましては、受取手形・完成工事未収入金等が減少したことによるものであります。

② 負債

負債の残高は557億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億6千4百万円の減少となりました。主な原因といたしましては、支払手形・工事未払金等が減少したことによるものであります。

③ 純資産

純資産の残高は87億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8千8百万円の増加となりました。主な原因といたしましては、当第1四半期純利益に加えて、その他有価証券評価差額金等が増加したことによるものであります。

この結果、当第1四半期末の自己資本比率は13.6%となり、前連結会計年度末に比べ1.1ポイントの増加となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点においては、「平成20年3月期 決算短信」（平成20年4月24日付）において公表した金額に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	12,846,547	1,484,040
受取手形・完成工事未収入金等	11,972,213	21,097,561
販売用不動産	989,947	1,056,221
未成工事支出金	12,665,562	8,233,883
材料貯蔵品	313,392	310,960
繰延税金資産	412,209	409,516
その他	794,905	10,474,083
流動資産合計	39,994,778	43,066,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,244,877	2,290,363
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	200,249	211,396
土地	13,757,117	13,757,117
有形固定資産計	16,202,244	16,258,876
無形固定資産		
電話加入権	18,182	18,182
ソフトウェア	268,694	283,152
無形固定資産計	286,877	301,335
投資その他の資産		
投資有価証券	6,598,958	5,891,840
繰延税金資産	527,498	748,138
その他	935,614	952,386
貸倒引当金	△22,674	△18,621
投資その他の資産計	8,039,396	7,573,744
固定資産合計	24,528,519	24,133,956
資産合計	64,523,297	67,200,224

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	20,476,977	24,636,540
短期借入金	12,455,000	12,531,400
未成工事受入金	12,113,534	9,416,989
完成工事補償引当金	108,497	122,639
その他	1,155,885	2,108,997
流動負債合計	46,309,895	48,816,567
固定負債		
長期借入金	4,760,000	5,364,000
退職給付引当金	2,694,201	2,632,839
再評価に係る繰延税金負債	1,615,913	1,615,913
その他	345,052	360,709
固定負債合計	9,415,166	9,973,461
負債合計	55,725,062	58,790,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,086,000	1,086,000
資本剰余金	1,561,846	1,561,846
利益剰余金	3,714,116	3,605,209
自己株式	△2,113	△2,065
株主資本合計	6,359,850	6,250,990
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	872,577	593,397
土地再評価差額金	1,565,807	1,565,807
評価・換算差額等合計	2,438,385	2,159,204
純資産合計	8,798,235	8,410,195
負債純資産合計	64,523,297	67,200,224

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年6月30日)

売上高	
完成工事高	10,628,674
兼業事業売上高	264,645
売上高合計	10,893,319
売上原価	
完成工事原価	10,088,781
兼業事業売上原価	121,181
売上原価合計	10,209,962
売上総利益	
完成工事総利益	539,893
兼業事業総利益	143,463
売上総利益合計	683,357
販売費及び一般管理費	1,086,087
営業損失(△)	△402,730
営業外収益	
受取利息	5,097
受取配当金	5,134
保険配当金	35,255
持分法による投資利益	8,216
雑収入	1,844
営業外収益合計	55,549
営業外費用	
支払利息	69,000
雑支出	0
営業外費用合計	69,000
経常損失(△)	△416,180
特別利益	
事業分離における移転利益	791,298
その他	140
特別利益合計	791,438
特別損失	
固定資産除却損	2,347
特別損失合計	2,347
税金等調整前四半期純利益	372,910
法人税、住民税及び事業税	130,227
法人税等調整額	25,215
法人税等合計	155,442
四半期純利益	217,468

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	372,910
減価償却費	73,900
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,053
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	61,361
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△14,141
受取利息及び受取配当金	△10,232
支払利息	69,000
事業分離における移転利益	△791,298
売上債権の増減額 (△は増加)	9,125,348
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△4,431,678
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,159,563
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	2,696,545
持分法による投資損益 (△は益)	△8,216
その他	△783,366
小計	2,204,623
利息及び配当金の受取額	70,003
利息の支払額	△61,780
法人税等の支払額	△523,858
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,688,987
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△119,165
事業移転による収入	800,000
その他	△209
投資活動によるキャッシュ・フロー	680,624
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	153,599
長期借入金の返済による支出	△834,000
配当金の支払額	△108,561
その他	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△789,009
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,580,602
現金及び現金同等物の期首残高	11,265,945
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,846,547

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	14,038,013
II 売上原価	13,098,121
売上総利益	939,891
III 販売費及び一般管理費	1,280,383
営業損失	340,492
IV 営業外収益	56,246
V 営業外費用	69,678
経常損失	353,924
VI 特別利益	—
VII 特別損失	—
税金等調整前四半期純損失	353,924
法人税、住民税及び事業税	12,300
法人税等調整額	△156,955
少数株主損失	8,680
四半期純損失	200,588

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失	353,924
減価償却費	60,034
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△57,252
完成工事補償引当金の増減額(減少:△)	14,057
受取利息及び配当金	△17,794
支払利息	69,678
売上債権の増減額(増加:△)	7,765,299
未成工事支出金の増減額(増加:△)	△4,684,630
仕入債務の増減額(減少:△)	△2,580,909
未成工事受入金の増減額(減少:△)	3,578,121
持分法による投資損益	△16,451
その他	△157,471
小計	3,618,758
利息及び配当金の受取額	67,818
利息の支払額	△67,768
法人税等の支払額	△852,955
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,765,852
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△27,487
投資有価証券の取得による支出	△1,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,697
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	50,131
長期借入金の返済による支出	△572,000
自己株式の取得による支出	△32
配当金の支払による支出	△108,564
少数株主への配当金の支払額	△1,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△631,665
IV 現金及び現金同等物の増減額(減少△)	2,105,489
V 現金及び現金同等物の期首残高	12,271,696
VI 現金及び現金同等物の期末残高	14,377,185

(3) 生産、受注及び販売の状況

(1) 受注実績

区分	当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
建設事業 (百万円)	10,834
合計 (百万円)	10,834

(2) 売上実績

区分	当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
建設事業 (百万円)	10,628
不動産事業 (百万円)	264
合計 (百万円)	10,893

(注) 1. 当社グループでは、建設事業以外は受注生産を行っておりません。

2. 当社グループでは、生産実績を定義することが困難であるため、「生産の状況」は記載しておりません。